

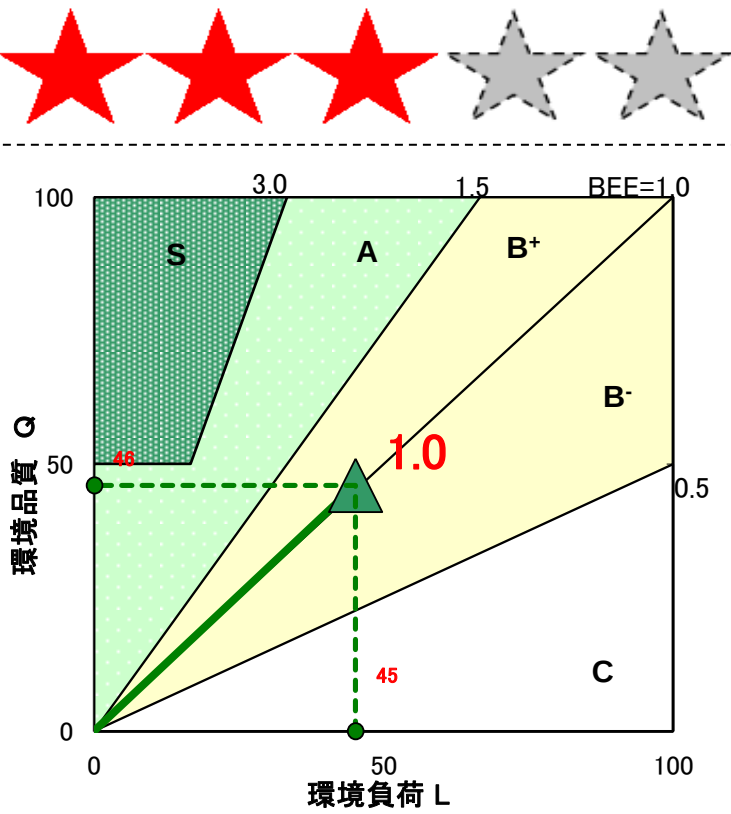
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)新町3丁目マンション新築工事	階数	地上10F		
建設地	熊本市中央区新町3丁目7-23,7-24	構造	RC造		
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	81 人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	4,380 時間/年		
建物用途	工場, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日	2014年8月26日		
敷地面積	494 m ²	作成者	蔵原佳代子		
建築面積	286 m ²	確認日	2014年8月28日		
延床面積	2,249 m ²	確認者	吉永拓郎		

1CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★★★



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

☆☆☆☆☆

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

排出率

92%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



70

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	73.2
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	70.0
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	60.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.7

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

Page : 1/6

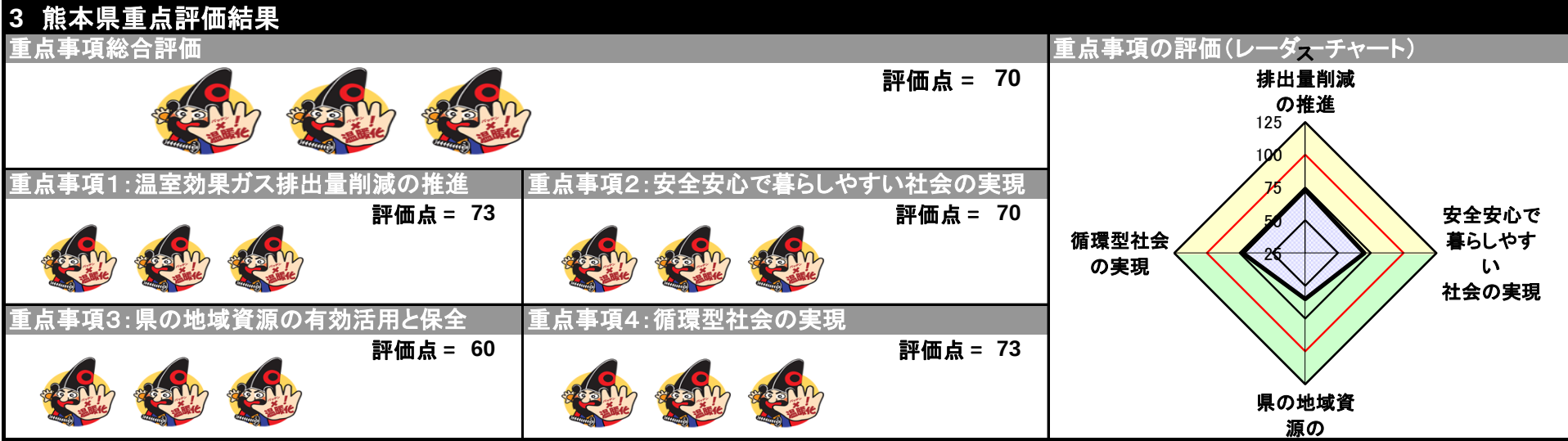
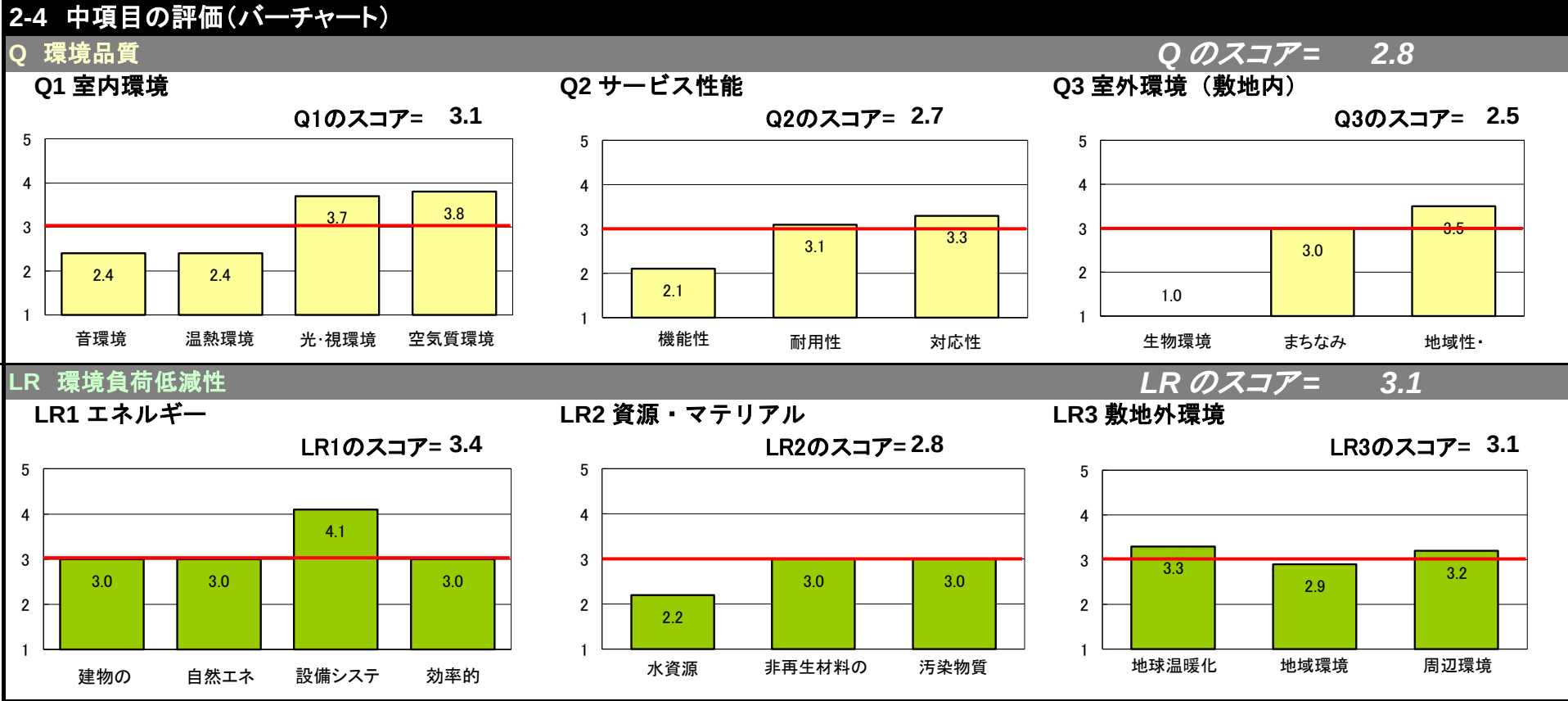
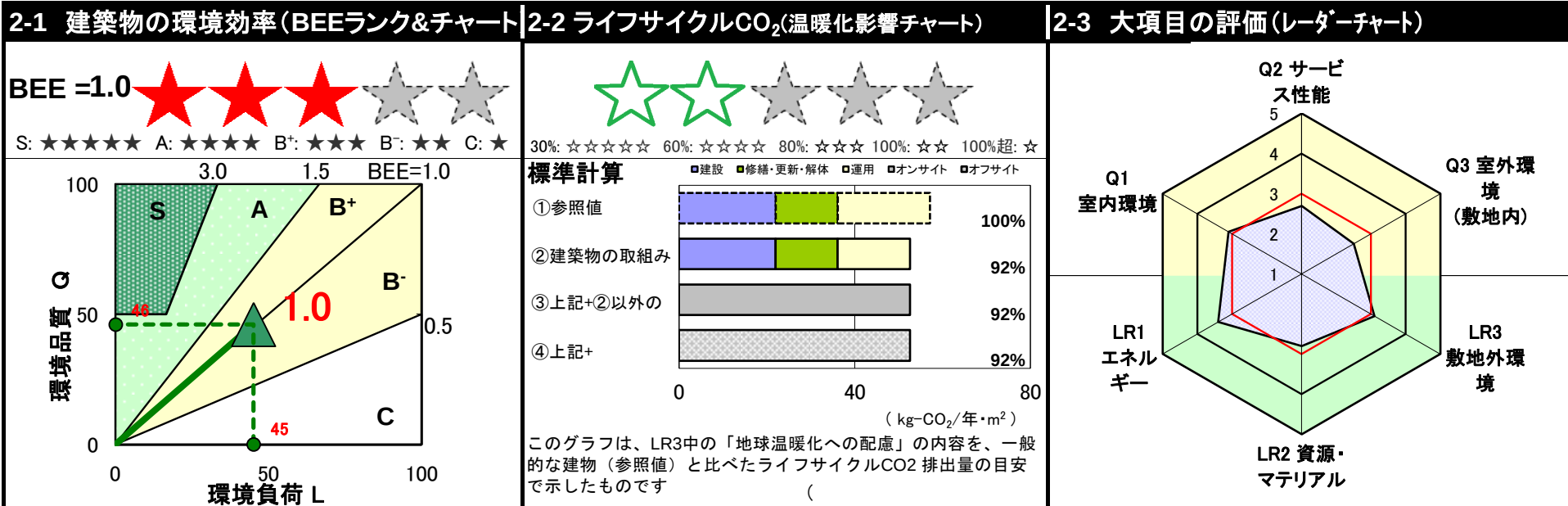
Sheet : 1/5

CASBEE® 熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI両用) | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)新町3丁目マンション新築工	階数		
建設地	熊本市中央区新町3丁目7-23,7-24	構造		
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間		
建物用途	工場, 集合住宅,	評価の段階		
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日		
敷地面積	494 m ²	作成者		
建築面積	286 m ²	確認日		
延床面積	2,249 m ²	確認者		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補 (仮称)新町3丁目マンション新築工事			■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPVBEI対応)		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v					
			欄に数値またはコメントを記入							
スコアシート			実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
					評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								2.8		
Q1 室内環境								3.1		
1 音環境					2.0	0.15	2.5	1.00	2.4	
1.1 騒音					3.0	0.49	3.5	0.50		
1			室内騒音レベル		3.0	1.00	4.0	0.50		
2			設備騒音対策		-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音					1.0	0.49	1.6	0.50		
1			開口部遮音性能		1.0	0.95	1.0	0.30		
2			界壁遮音性能		1.0	0.05	3.0	0.30		
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4			界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音					3.0	0.02	-	-		
2 温熱環境					1.0	0.35	3.0	1.00		2.4
2.1 室温制御					1.0	1.00	3.0	1.00		
1			室温		-	-	-	-		
2			負荷変動・追従制御性		-	-	-	-		
3			外皮性能		1.0	1.00	3.0	1.00		
4			ゾーン別制御性		-	-	-	-		
5			温度・湿度制御		-	-	-	-		
6			個別制御		-	-	-	-		
7			時間外空調に対する配慮		-	-	-	-		
8			監視システム		-	-	-	-		
2.2 湿度制御					-	-	-	-		
2.3 空調方式					-	-	-	-		
3 光・視環境					3.5	0.25	3.7	1.00		3.7
3.1 屋光利用					4.2	0.30	4.6	0.30		
1			屋光率	共用部: 2.4%、住居部: 8.7%	5.0	0.60	5.0	0.50		
2			方位別開口		-	-	5.0	0.30		
3			屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.30		
1			照明器具のグレア		-	-	-	-		
2			屋光制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3			映り込み対策		-	-	-	-		
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御					5.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境					3.6	0.25	3.8	1.00	3.8	
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63		
1			化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的採用	4.0	1.00	4.0	1.00		
2			アスベスト対策		-	-	-	-		
3			ダニ・カビ等		-	-	-	-		
4			レジオネラ対策		-	-	-	-		
4.2 換気					3.0	0.40	3.6	0.38		
1			換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2			自然換気性能		-	-	5.0	0.33		
3			取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4			給気計画		-	-	-	-		
4.3 運用管理					-	-	-	-		
1			CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2			喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-		2.7
1 機能性					2.5	0.40	2.0	1.00		2.1
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	2.0	0.60		
1			広さ・収納性		-	-	-	-		
2			高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00		
3			バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40		
1			広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2			リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3			内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-		
1			維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2			維持管理用機能の確保	廃棄物スペース確保、適度な勾配、共用部にて維持管理可能、水栓設置、共用部に電源、高所の維持管理を行える、操作が容易な位置	4.0	0.50	-	-		
3			衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.1	0.31	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震					3.0	0.48	-	-		
1			耐震性		3.0	0.80	-	-		
2			免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.33	-	-		
1			躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-		
2			外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼り(40年)	5.0	0.23	-	-		
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-		
4			空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-		
5			空調・給排水配管の更新必要間隔	B2種以上使用、E不使用	5.0	0.15	-	-		
6			主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新								
2.4 信頼性				3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.3	0.29	3.3	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			1階階高:3.30m、住居部階高:2.9m	2.0	0.04	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	2.0		1.00	4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	-		-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.4	0.96	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる		5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる		5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.31	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			空地率:42.17%、外壁面对策面積率:48.73%、廃熱、奥行きのあるバルコニー、周辺風状況を把握	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.35	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.21	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率照明の採用	4.1	0.40	-	-	4.1
			集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	4.0		-		
			集合住宅の評価	4.1		-		
4 効率的運用				3.0	0.03	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			—	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			GL工法、軽鉄工法により分別しやすい、錯綜しない	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	3.0	1.00	-	-	
3			冷媒	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			高効率照明	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	-	
1			雨水排水負荷低減	-	-	-	-	
2			汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
3			交通負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1			騒音	3.0	1.00	-	-	
2			振動	-	-	-	-	
3			悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1			風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2			砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
3			日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2			屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物を敷地に対して細くする事により、バルコニーの日照及び部屋及び敷地の通風を高める様に設計を行った。

Q1 室内環境

断熱材による保温、24時間換気による空気入れ換えで室内環境の快適性を確保した。

Q2 サービス性能

Q3 室外環境（敷地内）

建物を細くする事により、敷地内の通気性をあげた。

LR1 エネルギー

駐車場、外廊下照明には時間設定機能をつけ、省エネに配慮した。

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)新町3丁目マンション新築工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		69.8
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				73.2	0.40	29.28
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.14			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.01			
Q1-3.2.2	昼光制御	2.0	0.01			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.13			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				70	0.20	14.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				60	0.20	12.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				72.7	0.20	14.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.4	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数